

令和2年度

事業報告

社会福祉法人ベタニヤホーム

目 次

○令和2年度 社会福祉法人ベタニヤホーム 事業報告	1
【各拠点事業報告】	
○令和2年度 法人本部 事業報告	3
○令和2年度 母子生活支援施設 ベタニヤホーム 事業報告	15
○令和2年度 菊川保育園 事業報告	27
○令和2年度 富士見保育園 事業報告	34
○令和2年度 こひつじ保育園 事業報告	40

令和2（2020）年度 社会福祉法人ベタニヤホーム 事業報告

キリスト教の隣人愛の精神と社会福祉の理念に基づく社会福祉法人ベタニヤホームの基本理念の実現と使命を果たすべく、また、社会福祉法人として法に基づく適正な組織運営とガバナンスの強化を図るため、平成31年度に積み残したものも含め、令和2年度はおもに以下のような取り組みを行った。

一、キリスト教社会福祉の実践をすべての施設に浸透させるための法人内研修は、新型コロナウイルス感染症蔓延の影響により行えず、十分な取り組みはできなかったが、次年度以降も日々の実践と法人の基本理念との有機的関係づくりをすすめて行きたい。

二、社会福祉法に基づく信頼ある法人としての役割を果たしていくため、昨年度に引き続き組織体制の再構築をすすめた。

具体的には、定款細則、経理規程等の改正及び事案決定規程、文書管理規程を新たに制定したほか、今後の常務理事設置に向けた条件整備について経営委員会や理事会等で精力的に検討を行い、定款変更の手続きにつなげた。また、起案等の適正な事案決定処理を行うための事務研修を開催し、改めて経営組織の位置づけと権限を伝え、施設長・園長はじめ関係職員に組織の意思決定のプロセスと責任について理解を促した。

三、前年度に引き続き、定款ほか例規類を法制度及び法人の組織体制に沿うよう点検、再整備をすすめるとともに、特に新型コロナウイルス感染症対策として、職員が安心して働ける環境を整えるため、必要な休暇の取得や所得補償等に関する規定を整えた。

また、賃金規程等検討委員会において、人事評価の反映のあり方、賞与システムの見直し、働き方改革にともなう職員の処遇の再点検や人材確保策、人材育成の一環として昇任考査導入の検討（令和2年12月実施済）を行った。

四、令和2年度より複数年にわたっての取り組みとして、①総合的な災害対策、特に水害対策の検討、②法人創立100周年に向けての情報収集とプロジェクト化の検討、③「中長期経営計画」の見直しを見据えた状況把握と課題整理を掲げた。このうち、①及び③については、新型コロナウイルス感染症対策を優先したことにより取り組みを見送ったが、②については、令和3年4月の検討組織発足を固め、準備事務を開始した。

最後に、教会との関わりについては、今年度も様々な祈りの場をご提供いただいた。日本福音ルーテル聖パウロ教会は、法人全体で実施する礼拝の会場として、また、月例開催の施設連絡協議会における礼拝にもご協力をいただいた。特に、コロナ禍にある施設利用者や職員等を精神的な支えとなっていた。また、日本福音ルーテル教会の現役、引退の教職の方々から、理事・評議員として法人運営にご参画いただいたほか、各施設の担当牧師としての働きをお願いさせていただいた。改めて感謝申し上げたい。

なお、令和2年度の重点事項と具体的な実践計画に基づく取り組み成果等については、次頁以降の各拠点ごとの事業報告をご覧ください。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の流行、蔓延により、すべての業務が多大な影響を受けた中で、昨年7月末より約2週間ほど菊川保育園が休園となっている。令和3年度を迎えても状況の改善には至っておらず、収束を迎えるその日まで一日たりとも気を抜くことはできない。引き続き、法人各施設では徹底して感染症対策を講じながら、キリスト教精神と社会福祉の理念のもと、ベタニヤホーム本来の働きが果たせるよう努めていきたい。

令和2（2020）年度 法人本部 事業報告

I 令和2年度の法人本部運営方針に基づく取り組みの成果と課題について

今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡がりにより、法人運営の様々な面で大きな影響を受けた。キリスト教社会福祉の日々の実践と法人の基本理念との有機的関係づくりの浸透に向けては、各施設とも十分な研修等が行えず、また、法人全体の計画はほとんど実行できなかった。令和3年度も引き続き取り組んでいかなければならないと考える。

一方、社会福祉法に基づく法人としての役割を果たしていくため、理事会を中心に経営組織の位置づけと権限を整理し、組織体制の再構築に向けての骨格を整えることができた。意思決定のプロセスと権限の明確化も整いつつある。また、関係の規定についても、定款をはじめとする例規類を法制度及び法人の組織体制に沿って点検、再整備を行ってきたが、特に、新型コロナウイルス感染症への対応として急がなければならない規程整備を優先した。

今年度より複数年にわたり継続してすすめる取り組みとして掲げたもののうち、総合的な災害対策（特に水害対策）については、施設連絡協議会で検討を行っていくこととしたが、感染症対策を優先しての対応に終始し、水害対策についてはほとんど検討ができなかった。また、法人創立100周年に向けては、年度末に経営委員会等で検討、準備の方向性を固め、令和3年度の準備組織発足へつなぐことができたが、「中長期経営計画」の見直しを見据えての取り組みについてはほとんど着手することができなかった。

II 令和2年度の重点的な取り組み目標と目標達成に向けての具体的な取り組みや事業

1 法人運営へのかかわり

重点的な取り組み目標に対する実績・成果

(1)経営組織の体制再構築と法令を遵守した安定的な運営

①理事会 開催5回

第1回	令和2年6月8日	出席	理事6人	監事2人
<決議事項>				
議案第1号 平成31年度事業報告及び決算報告の承認について				
議案第2号 法人の主たる事務所の移転について				
議案第3号 社会福祉法人ベタニヤホーム定款の変更について				
議案第4号 社会福祉法人ベタニヤホーム慶弔金支給基準の制定について				
議案第5号 監事選任候補者の推薦について				
議案第6号 令和2年度第1回評議員会（定時評議員会）の招集について				
<報告事項>				
1 平成31年度各拠点区分資金収支予算の流用報告について				
2 平成31年度各拠点区分予備費の使用報告について				
3 平成31年度事業報告並びに計算関係書類及び財産目録に関する監事監査報告について				
4 平成31年度決算に基づく社会福祉充実残額について（机上配布）				

- 5 理事長及び業務ブロック担当理事の業務執行状況報告について
- 6 母子生活支援施設ベタニヤホームの竣工及び社会福祉充実計画の変更届出について（机上配布）
- 7 母子生活支援施設ベタニヤホーム本設完成に伴う移転作業の報告について
- 8 母子生活支援施設ベタニヤホーム本設完成に伴う什器類の購入3件の報告について

第2回 令和2年8月11日書面決議 理事全7人同意、監事全3人確認

<決議事項>

- 議案第7号 児童養護施設等の生活向上のための環境改善事業の申請について
- 議案第8号 社会福祉法人ベタニヤホーム経理規程の一部改正について
- 議案第9号 社会福祉法人ベタニヤホーム就業規則の一部改正について
- 議案第10号 社会福祉法人ベタニヤホーム有期契約職員就業規則の一部改正について
- 議案第11号 社会福祉法人ベタニヤホーム役員等報酬規程の一部改正について
- 議案第12号 社会福祉法人ベタニヤホームハラスメント防止規則の制定について
- 議案第13号 貸金庫の解約について
- 議案第14号 評議員選任・解任委員の選任について

<報告事項>

- 1 ストレスチェック制度及び職場復帰支援プログラムの導入に向けて
- 2 将来の常務理事の設置に向けて
- 3 令和2年度貸金規程等検討委員会の協議について
- 4 苦情解決第三者委員の委嘱について
- 5 菊川保育園空調機整備及び空調機器フロンガス漏洩点検の業務委託について

第3回 令和2年10月27日 出席 理事7人 監事2人

<決議事項>

- 議案第15号 令和2年度母子生活支援施設ベタニヤホーム拠点区分資金収支補正予算（補正第1号）
- 議案第16号 令和2年度富士見保育園拠点区分資金収支補正予算（補正第1号）
- 議案第17号 令和2年度こひつじ保育園拠点区分資金収支補正予算（補正第1号）
- 議案第18号 社会福祉法人ベタニヤホーム定款の変更について
- 議案第19号 社会福祉法人ベタニヤホーム就業規程の一部改正について
- 議案第20号 社会福祉法人ベタニヤホーム印章取扱規程の一部改正について
- 議案第21号 令和2年度第2回評議員会の招集について

<協議事項>

- 1 常務理事の設置に伴う条件整備について

<報告事項>

- 1 令和2年度母子生活支援施設ベタニヤホーム拠点区分資金収支予算流用報告について
- 2 令和2年度こひつじ保育園拠点区分資金収支予算流用報告について
- 3 理事長及び業務ブロック担当理事の上半期業務の執行状況報告について
- 4 東京都指導検査実施報告について
- 5 令和2年度貸金規程等検討委員会の運営について
- 6 富士見保育園屋上防水工事の業務委託について（机上配布）
- 7 定款変更届の受理報告について（机上配付）

第4回 令和3年2月1日書面決議 理事全7人同意、監事全3人確認

<決議事項>

- 議案第22号 令和2年度母子生活支援施設ベタニヤホーム拠点区分資金収入補正予算（補正第2号）
- 議案第23号 社会福祉法人ベタニヤホーム定款細則の一部改正について
- 議案第24号 社会福祉法人ベタニヤホーム事案決定規程の制定について
- 議案第25号 社会福祉法人ベタニヤホーム文書取扱規程の制定について
- 議案第26号 新型コロナウイルス感染拡大に伴う母子生活支援施設職員への危険手当の支給について
- 議案第27号 施設長の任命について
- 議案第28号 令和2年度第3回評議員会の招集について

<協議事項>

- 1 常務理事の設置に伴う条件整備について

<報告事項>

- 1 令和2年度母子生活支援施設ベタニヤホーム拠点区分資金収支予算流用報告について
- 2 苦情解決第三者委員会開催報告及び対応事例等の公表について
- 3 印章の改刻及び新調の報告について

第5回 令和3年3月23日書面決議 理事全7人同意、監事全3人確認

<決議事項>

- 議案第29号 令和2年度法人本部拠点区分資金収支補正予算（補正第1号）
- 議案第30号 令和2年度菊川保育園拠点区分資金収支補正予算（補正第1号）
- 議案第31号 令和2年度富士見保育園拠点区分資金収支補正予算（補正第2号）
- 議案第32号 令和2年度こひつじ保育園拠点区分資金収支補正予算（補正第2号）
- 議案第33号 社会福祉法人ベタニヤホーム定款の変更について
- 議案第34号 社会福祉法人ベタニヤホーム経理規程の一部改正について
- 議案第35号 社会福祉法人ベタニヤホーム就業規程の一部改正について
- 議案第36号 社会福祉法人ベタニヤホーム貸金規程の一部改正について
- 議案第37号 社会福祉法人ベタニヤホーム再雇用職員就業規程の制定について
- 議案第38号 社会福祉法人ベタニヤホーム役員等報酬規程の一部改正について

- 議案第39号 令和2年度職員の人事評価について
 議案第40号 令和2年度第4回評議員会の招集について
 議案第41号 令和3年度母子生活支援施設ベタニヤホーム警備委託契約の締結について
 議案第42号 令和3年度事業計画及び資金収支予算の承認について
 議案第43号 令和3年度第1回評議員選任・解任委員会の招集について
- <報告事項>
- 1 令和2年度法人本部拠点区分資金収支予算の流用報告について
 - 2 令和2年度賃金規程等検討委員会活動報告について

②評議員会 開催4回

第1回 令和2年6月23日 出席 評議員8人 理事2人 監事1人

- <決議事項>
- 議案第1号 平成31年度事業報告及び決算報告の承認について
 議案第2号 社会福祉法人ベタニヤホーム定款の変更について
 議案第3号 監事の選任について
- <報告事項>
- 1 平成31年度各拠点区分資金収支予算の流用報告について
 - 2 平成31年度各拠点区分予備費の使用報告について
 - 3 平成31年度事業報告並びに計算関係書類及び財産目録に関する監事監査報告について
 - 4 平成31年度決算に基づく社会福祉充実残額について
 - 5 理事長及び業務ブロック担当理事の業務執行状況報告について
 - 6 母子生活支援施設ベタニヤホームの竣工及び社会福祉充実計画の変更届出について
 - 7 法人の主たる事務所の移転について

第2回 令和2年11月5日 出席 評議員8人 理事2人

- <決議事項>
- 議案第4号 令和2年度母子生活支援施設ベタニヤホーム拠点区分資金収支補正予算（補正第1号）
 議案第5号 令和2年度富士見保育園拠点区分資金収支補正予算（補正第1号）
 議案第6号 令和2年度こひつじ保育園拠点区分資金収支補正予算（補正第1号）
 議案第7号 社会福祉法人ベタニヤホーム定款の変更について
 議案第8号 社会福祉法人ベタニヤホーム役員等報酬規程の一部改正について
- <報告事項>
- 1 令和2年度母子生活支援施設ベタニヤホーム拠点区分資金収支予算流用報告について
 - 2 令和2年度こひつじ保育園拠点区分資金収支予算流用報告について
 - 3 社会福祉法人ベタニヤホーム就業規程の一部改正について

- 4 社会福祉法人ベタニヤホーム印章取扱規程の一部改正について
- 5 常務理事の設置に伴う条件整備について
- 6 理事長及び業務ブロック担当理事の上半期業務の執行状況報告について
- 7 東京都指導検査実施報告について
- 8 令和2年度賃金規程等検討委員会の運営について
- 9 定款変更届の受理報告について

第3回 令和3年2月16日書面決議 評議員 全9人同意

<決議事項>

議案第9号 令和2年度母子生活支援施設ベタニヤホーム拠点区分資金収入補正予算（補正第2号）

<報告事項>

- 1 令和2年度母子生活支援施設ベタニヤホーム拠点区分資金収支予算流用報告について
- 2 社会福祉法人ベタニヤホーム定款細則の一部改正について
- 3 社会福祉法人ベタニヤホーム事案決定規程の制定について
- 4 社会福祉法人ベタニヤホーム文書管理規程の制定について
- 5 常務理事の設置に伴う条件整備について
- 6 各拠点における印章の改刻及び新調の報告について
- 7 施設長の任命について

第4回 令和3年3月30日書面決議 評議員 全9人同意

<決議事項>

議案第10号 令和2年度法人本部拠点区分資金収支補正予算（補正第1号）

議案第11号 令和2年度菊川保育園拠点区分資金収支補正予算（補正第1号）

議案第12号 令和2年度富士見保育園拠点区分資金収支補正予算（補正第2号）

議案第13号 令和2年度こひつじ保育園拠点区分資金収支補正予算（補正第2号）

議案第14号 社会福祉法人ベタニヤホーム定款の変更について

議案第15号 社会福祉法人ベタニヤホーム役員等報酬規程の一部改正について

議案第16号 令和3年度事業計画及び資金収支予算の承認について

<報告事項>

- 1 令和2年度法人本部拠点区分資金収支予算の流用報告について
- 2 社会福祉法人ベタニヤホーム経理規程の一部改正について
- 3 社会福祉法人ベタニヤホーム就業規程の一部改正について
- 4 社会福祉法人ベタニヤホーム賃金規程の一部改正について
- 5 社会福祉法人ベタニヤホーム再雇用職員就業規程の制定について
- 6 令和2年度賃金規程等検討委員会活動報告について

③監事監査 開催1回（2日間）

- 令和2年5月19日 出席 監事（業務）1人 理事長 各拠点職員
- 内容 平成31年度事業執行状況について監査

- 令和2年5月28日 出席 監事（会計）1人 理事長 各拠点職員
内容 平成31年度計算関係書類及び財産目録について監査

④各種委員会等

ア 経営委員会 7回開催（5回目以降リモート開催）

- 委員 綱 春子理事長、川島克之理事、鷺見達也理事、和田真弓理事

●主な協議内容

今年度は緊急事態宣言の発出により7月から実施した。理事会予定議題の事前確認のほか、下記のような事項について協議を行った。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策、施設長・副施設長昇任考査、常務理事の設置に伴う条件整備等については、複数回にわたって協議を重ねた。

- ・東京都指導検査文書指摘事項について
- ・新型コロナウイルス感染症による小学校休業等対応助成金について
- ・令和3年度事業計画案について
- ・定款及び規程等の改正について ほか

イ 施設連絡協議会 9回開催（7回目以降リモート開催）

- 構成員 理事長、業務ブロック担当理事、各園長・施設長、事務長

●主な協議内容等

例年8月を除き毎月定例で実施していたが、今年度は緊急事態宣言の発出により6月からの実施とした。おもな協議内容は下記のとおりである。

- ・新型コロナ感染症対策について
- ・災害対策の検討について
- ・就業規則の一部改正と関連規則等について
- ・苦情解決第三者委員会の開催と第三者委員連絡先について
- ・有償リモートアプリの導入について
- ・関係職員事務研修について
- ・令和3年度事業計画及び予算作成について
- ・法人内昇任考査について
- ・有期契約職員の給与支払日の変更について
- ・その他各施設から協議事項・報告事項 ほか

ウ 苦情解決第三者委員会 1回開催

- 委員 藤田寿彦、新井尚恵、市川直美、下田信二郎、飯村史恵（敬称略）

- 開催日 令和2年11月12日（木）

- 場所 母子生活支援施設1階 地域交流ホール

- 対象期間 令和元年9月20日～令和2年9月30日

●苦情等対応状況

施設 案件	母子生活 支援施設	菊川 保育園	富士見 保育園	こひつじ 保育園
苦情	1			
意見・要望		3	1	5

●情報公開

苦情等対応状況及び当該委員会からの意見やアドバイスについて、法人及び各施設のホームページに掲載した。

エ 賃金規程等検討委員会

- 委員 松田繁雄理事(委員長)、川島克之理事(副委員長)、和田真弓理事、各園長・施設長、事務長

●検討内容

令和2年9月から令和3年3月までの間に、計6回の委員会を開催した。検討内容は下記の10項目に及び、このうち令和2年度内にすでに改善が図れた課題があった一方、令和3年度も引き続き、研究、協議が必要な課題も残った。改善策の多くは、既存規程の改正や新たに制定を図ったものである。

- ・就業時間について
- ・有期契約職員の雇用について
- ・中途採用について
- ・再雇用制度について
- ・昇任考査について
- ・賞与システムについて
- ・新人事評価制度について
- ・固定勤務制度について
- ・就業規程・賃金規程の改正について
- ・賞与引当金について

(2)法人例規の見直し・整備

①定款・定款細則

- ・社会福祉法人ベタニヤホーム定款の変更(6月) 10月22日認可
- ・社会福祉法人ベタニヤホーム定款の変更(11月)
- ・社会福祉法人ベタニヤホーム定款の変更(3月)

②規程・規則

- ・社会福祉法人ベタニヤホーム慶弔金支給基準の制定(6月)
- ・社会福祉法人ベタニヤホーム経理規程の一部改正(8月)
- ・社会福祉法人ベタニヤホーム就業規則の一部改正
- ・社会福祉法人ベタニヤホーム就業規則の一部改正
- ・社会福祉法人ベタニヤホームハラスメント防止規則の制定
- ・社会福祉法人ベタニヤホーム役員等報酬規程の一部改正(11月)
- ・社会福祉法人ベタニヤホーム就業規程の一部改正
- ・社会福祉法人ベタニヤホーム印章取扱規程の一部改正
- ・社会福祉法人ベタニヤホーム定款細則の一部改正(2月)
- ・社会福祉法人ベタニヤホーム事案決定規程の制定
- ・社会福祉法人ベタニヤホーム文書取扱規程の制定

- ・ 社会福祉法人ベタニヤホーム経理規程の一部改正（3月）
- ・ 社会福祉法人ベタニヤホーム就業規程の一部改正
- ・ 社会福祉法人ベタニヤホーム賃金規程の一部改正
- ・ 社会福祉法人ベタニヤホーム再雇用職員就業規程の制定
- ・ 社会福祉法人ベタニヤホーム役員等報酬規程の一部改正

(3) 保育園建替えへの備え

施設連絡協議会及び経営委員会において、当初は内部を中心に令和3年度から準備組織を立ち上げることとし、江戸川区へ準備意向を伝え、情報収集等を開始した。

(4) 法人創立100周年に向けた準備

① 情報収集とプロジェクト立ち上げの検討

施設連絡協議会及び経営委員会において、令和3年度から準備組織を当初は内部を中心に立ち上げることとした。

② すみだ郷土文化資料館企画展等を活用した創立記念会の企画

新型コロナウイルス感染症の流行により、記念礼拝のみ実施し講演会は中止した。

2 職員へのかかわり

重点的な取り組み目標に対する実績・成果

具体的な諸課題について、経営委員会、賃金規程等検討委員会及び施設連絡協議会において協議、検討を行い、以下のような取り組み状況である。

(1) 適正な人事及び労務事務の遂行

① 新たな人事評価の試行実施

新型コロナウイルス感染症の流行により、各施設への制度説明など実施することができず、試行についても見送ることとなった。

② 職員採用時レクチャー

新型コロナウイルス感染症の流行により、発令式及び職員レクチャーを中止した。

③ 各種人事・労務事務

今年度新たに法人内昇任考査を行った。その他、各種人事・労務事務は遅滞なく適宜処理することができた。

④ 賞与及び給与等に関する協議

賃金規程等検討委員会において、人事評価結果の反映と職員の賞与及び賃金に関する見直しの検討を行った。

⑤ 施設長、副施設長昇任考査の実施

今年度新たに実施要項を整え、それぞれ副施設長、主任を対象に法人内昇任考査を行い、各1名ずつの合格者があった。

⑥ 新型コロナウイルス感染症流行下における労働環境の整備

すべての職員が安心して働けるよう特別有給休暇の活用のほか、既存制度にない必要な休暇の取得や所得補償制度について規定化した。

(2)働き方改革による労働環境の整備

- ①有期契約職員の処遇等について全施設の状況把握と改善に向けて検討を行った。
- ②子育て・介護を行う職員の働く環境の改善について検討を行った。
- ③高年齢者の雇用促進と人材確保を目的に嘱託職員制度を見直し職員再雇用制度を規定化した。

(3)心の健康維持などへの支援

- ①メンタルヘルスチェック実施要綱を制定し、今後具体的な導入について検討を行う。
- ②職場復帰支援プログラムに関する検討を行い、今後規程案について検討を行う。
- ③産業医の導入に向けて検討を行ったが、引き続き情報収集と検討を継続する。
- ④ハラスメント防止規則を制定した。次年度はハラスメント防止のための法人内の仕組みづくりをすすめる。

(4)職員の状況

①令和2年度末の状況（令和3年3月31日現在）（単位:人）

拠点 形態	法人 本部	母子生活 支援施設	菊川 保育園	富士見 保育園	こひつじ 保育園	合 計
常勤職員	1 (1)	11 (11)	28 (28)	26 (27)	26 (23)	92 (90)
非常勤職員	1 (2)	2 (2)	14 (18)	7 (7)	9 (7)	33 (36)
合 計	2 (3)	13 (13)	42 (46)	33 (34)	35 (30)	125 (126)

※（）は平成31年度実績（令和2年3月1日現在）

②令和2年度新規採用職員（単位:人）

拠点	採用日	4月1日採用		年度途中採用	
		常勤職員	非常勤職員	常勤職員	非常勤職員
法人本部		0	0	0	0
母子生活支援施設		0	1	0	0
菊川保育園		1	0	1	0
富士見保育園		2	1	0	0
こひつじ保育園		4	0	1	2
合 計		7	2	2	2

③令和2年度退職職員（単位:人）

拠点	退職日	年度途中退職		3月31日退職	
		常勤職員	非常勤職員	常勤職員	非常勤職員
法人本部		0	0	0	0
母子生活支援施設		1	0	0	0
菊川保育園		1	0	2	3
富士見保育園		0	1	3	0
こひつじ保育園		1	0	2	0
合 計		3	1	7	3

④令和3年度採用職員（令和3年4月1日付）（単位:人）

拠 点	常勤職員	非常勤職員
法人本部	0	0
母子生活支援施設	1	1
菊川保育園	2	2
富士見保育園	1	0
こひつじ保育園	0	1
合 計	4	4

3 地域へのかかわり

重点的な取り組み目標に対する実績・成果

(1)法人の取り組みの周知

①ベタニヤホームだよりの発行・配布

季刊発行の定例化を定着させたほか、今年度よりホームページへの掲載を開始した。発行部数 各号810部

②法人全体の事業案内ガイドを作成・配布

新型コロナウイルス感染症の流行により、各施設職員による作成会議を設けることができず令和3年度へ見送ることとした。

③るうてる2021年3月号に新型コロナウイルス感染症への対応について寄稿

(2)地域公益活動への参画、支援

①母子生活支援施設及びこひつじ保育園が行う活動の支援

新型コロナウイルス感染症の流行により、法人本部としての協働、支援は実施しなかった。

②墨田区社会福祉法人連絡会

新型コロナウイルス感染症の流行により連絡会の活動はなかった。

III 令和2年度の重点的な基盤整備目標と目標達成に向けての具体的な取り組み

1 人材育成

重点的な基盤整備目標に対する実績・成果

(1)人材育成プログラムの充実

①法人全体での研修・講演会の企画、実施はできず、規程改正に基づく事務研修のみとなった。

②前年度提言を受け、今年度予定していた新たな人事評価制度の試行は実施できなかった。

(2)人材確保対策の強化

①求人情報掲載の掲載方法・内容の検討

- ②子育て・介護を行う職員の働き方の検討（再掲）
- ③職員再雇用制度の見直し（再掲）
- ④法人事業案内ガイドの作成・配布は着手できなかった。

(3)礼拝の場の提供

①イースター礼拝	中止
②法人創立97周年記念礼拝	時間を短縮し、リモートで実施。講演会は実施せず。
③クリスマス礼拝	時間を短縮し、平日昼礼の時間を利用しリモートで実施。祝会は中止した。
④東京大空襲犠牲者追悼礼拝	時間を短縮し、平日昼礼の時間を利用しリモートで実施。講演会は実施せず。
⑤施設連絡協議会における定例礼拝	今年度より日本福音ルーテル聖パウロ教会より小勝牧師を招き実施（基本的にリモート実施）

2 施設整備

重点的な基盤整備目標に対する実績・成果

(1)法人本部事務局移転業務

- ①令和2年7月1日～3日に菊川保育園にじ棟より母子生活支援施設3階へ移転した。
- ②法人職員給与計算ソフトを導入した。
- ③理事長用PC及び携帯用Wi-fiルーターを整備し、決裁の効率化やリモート会議等の実施環境を整えた。
- ④本部保管物に関するセキュリティの強化を図った。

(2)拠点間情報インフラ整備の検討

- ①サイボウズ等のインフラシステム導入の検討是非の調査・研究
折からの新型コロナウイルス感染症の拡がりにより、リモートワーク環境の整備を優先したが、インフラシステム（電子決裁機能含め）の早期の導入が必要不可欠となった。
- ②電子決裁機能の調査・研究
①のとおりであり、令和3年度改めて調査・研究を行う必要がある。

(3)富士見保育園の建替え準備事務（再掲）

経営委員会等で建替えに関する検討組織の発足に向けた協議を行った。令和3年度以降は建替えコンセプトなど具体的な協議を行っていくとともに、借入金や社会福祉充実残額の活用など財源についても検討を行う。

3 危機管理

重点的な基盤整備目標に対する実績・成果

(1) (仮称) 災害対策検討委員会の設置・運営

施設連絡協議会内で検討を行い、検討委員会は設けないこととしたが、今年度は、新型コロナウイルス感染症対策にほぼ終始した。

(2) 災害対策マニュアルの検討・作成

上記のとおり、検討及び作成はせず情報収集のみ行った。

IV 令和2年度特筆すべき取り組み、事業及び予算

取り組みの内容と予算の執行状況

取り組み	内 容	執行額	予算額
(1) ろうてる法人会連 合総会出張旅費	8月に熊本県で予定されていたろうてる法人連合主催の総会・研修会が中止となり、出席経費が未執行となった。	33,402 円	145,000 円
(2) 本部移転による什 器備品、給与ソフト購 入	不調のPC代替機や当初計上していなかったアクリル仕切板など新型コロナウイルス対策用品が必要となった。	1,490,240 円	1,327,000 円
(3) 法人総合事業案内 作成	新型コロナウイルス感染症の拡大により各施設職員による編集を見送ったため、当該予算が未執行となった。	86,902 円	325,000 円
(4) 顧問弁護士、引越 業務の委託	法人本部事務局移転作業を職員自ら実施したことにより計上していた引越業者への委託料が未執行となった。	990,000 円	1,151,000 円
(5) 役員損害賠償保 険、災害補償保険加入	当初予算に対して掛金の値上がりが発生したが予算対応した。	246,450 円	251,000 円
(6) 複合コピー機リー ス料計上	旧母子生活支援施設建替え準備室に設置されていたコピー機を法人本部へ令和2年度より移管したため新規計上。	583,200 円	585,000 円
(7) 消費税等の計上	法人本部拠点区分における消費税の課税はなくなったが、母子生活支援施設未竣工による固定資産税を要した。	368,800 円	370,000 円
(8) 母子生活支援施設 一部工事費用の拠出	法人本部拠点区分より母子生活支援施設ベタニヤホーム拠点区分への3,500万円の拠出金の皆減	0 円	0 円

令和2（2020）年度 母子生活支援施設ベタニヤホーム 事業報告

I 令和2年度の施設運営方針に基づく取り組みの成果と課題について

施設整備完了を前提とした公益的取り組み（食支援及びそれに伴うネットワーク形成）、「代替養育における家庭と同様の養育環境」形成への参画（里親支援）、地域社会へのアウトリーチ（地域との協働）を規定していたが、施設整備を完了したものの、新型コロナウイルス感染症の広まりにより、すべての支援に関わる事業が一部の達成にとどまった。ただし、食支援（2回）、里親支援（区所管との協議）、地域との協働（町会による施設設備利用1回）として実施できたことは、これからの事業につながる上でのステップになった。施設整備については、令和2年4月末日に竣工を迎え、6月には仮施設からの移転を行った。また企業CSRや助成金の申請により、施設内家具、カーテン、会議室用椅子、ICT機器、緊急一時保護室のアメニティ整備、防災食、防災グッズ等、様々な支援を受けながら整備を進めた。

II 令和2年度の重点的な取り組み目標と目標達成に向けての具体的な取り組みや事業

1 子どもへのかかわり

重点的な取り組み目標に対する実績・成果

(1) 学童支援

調理実習や銭湯体験を集団、かつ定期的に行うことがコロナ禍ではできなかった。但し、長期休暇中に個別の宿泊行事を実施し、施設内の設備を利用して、調理や入浴体験のできる機会を設けた。

学習室にデスクトップパソコン・タブレット端末を導入し、ICT環境を整えることができたが、コロナ禍でボランティアの参加が困難となり、プログラミング教育を実施するまでには至らなかった。代わって、職員がICT機器の基本操作を教えた。本事業は企業による助成金を利用した。年間をかけて自立支援計画票のフォームの見直し・改訂を行ったため、実際の支援はアセスメントシートをもとに実施した。

(2) 乳幼児支援

就労で必要な世帯には施設内保育や補助保育を実施、身体的、精神的にサポートが必要な世帯には病後児保育やレスパイトケアを実施した。また、母親のリフレッシュを目的とした保育を母親の希望に合わせて実施した。

子どもが登園している保育園と連携し、保育園での生活の様子を聞き、施設での生活を伝え、情報共有を実施した。子育ての悩み等の相談があれば、母親担当や保育園と連携し、子育て支援を実施した。

保育園入園・転園手続きが難しい外国籍の母親へは記載補助を実施した。

(3) 心理的支援

学童活動や保育に参加し、様子を観察し、アセスメントを行った。
プレイセラピーを実施した。

プレC.C（以下、ケースカンファレンスを「C.C」という。）を通じてコンサルテーションを実施することで、C.Cにてアセスメントをより深めることができた。チーム支援遂行のための役割分担を必要に応じて細かく設定し、C.Cの効率化を図った。

2 保護者へのかかわり

重点的な取り組み目標に対する実績・成果

(1) 母親支援

養育への支援については、支援の個別化を進めると共に、職員が乳児院で研修を受け、乳幼児世帯の養育支援の向上に繋げることができた。生活面においては、本設への引越しに合わせて新たなルール設定を行い、各フロアの母子が輪番制でフロアの清掃を行えるようにした。加えて緊急一時保護及び妊産婦支援のために必要な備品を揃え、居室の整備を行った。母親の主眼的活動は感染症の影響で実施が難しかったが、『カレーの日』は2、3月を除いて通年で実施した。また、関係機関との連携においては、入所前のインタビュー面接を導入し、入所前に課題の整理や支援方針の共通理解を図ることで、入所後に母子がスムーズに支援を受けることができるようにした。

(2) 心理的支援

初回の自立支援面接に心理職が同席し、利用者の特性を見立て、想定されるリスク、心理ケアの有無及び方法を検討したうえで、C.Cで共有した。

利用者の精神科・心療内科通院には、服薬状況や精神疾患の症状把握を行うため同行した。同行しない場合は、通院状況や処方薬、症状の確認を行った。

プレC.Cを通じてコンサルテーションを実施することで、C.Cにてアセスメントをより深めることができた。チーム支援遂行のための役割分担を必要に応じて細かく設定し、C.Cの効率化を図った。

3 地域へのかかわり

重点的な取り組み目標に対する実績・成果

(1) 江東橋5丁目子ども会への参画

新型コロナウイルス感染拡大により、夏祭りが中止となり、これまで打ち合わせてきた利用者も含めた参画の機会を失った。

(2) 江東橋5丁目町会への参画

夏祭りが中止となったが、町内の防犯・防災対策の年末夜警に職員5名参加した。

(3) 地域交流ホールの利用

10月に「江5のつどい」をホールで開催することができた。その後は町会長との協議の上、ホール利用ガイドラインを作成した。

III 令和2年度の重点的な基盤整備目標と目標達成に向けての具体的な取り組み

1 人材育成

重点的な基盤整備目標に対する実績・成果

(1) 母子生活支援施設に求められる支援サービスが展開できる支援スキルの獲得（レジデンシャルソーシャルワーカー）

施設独自OFF-JTの研修で実施できたのは、乳児院実地研修、専門研修として「外国籍利用者の法的課題・子どもの権利」の2つのみであった。外部機関主催の研修はオンラインが主となったが開催された研修には参加した。

(2) 他領域の事業に関心を持ち、アプローチ、コミュニケーションできる人財の育成（ジェネラリストソーシャルワーカー）

今後、様々なパートナーと事業を展開するためのプレゼンテーションやコミュニケーションの学びを得るために、東京ボランティア・市民活動センター主催研修（オンライン）に参加した。施設独自の実地研修（就労支援作業所）は中止とした。

(3) 社会の動向に関心を持ち、地域社会と共に地域づくりができる人財の育成（コミュニティソーシャルワーカー）

地域福祉を進める上で必要となる知識を得るための研修として、東京ボランティア・市民活動センター主催研修（オンライン）、全国地域福祉施設研修会（オンライン）に参加し、施設独自OFF-JT Visual研修（社会的養護に関わる映像研修）を開催した。施設独自OFF-JT居場所事業実地研修や、施設独自OFF-JT聖書研修については次年度以降に延期した。

2 施設整備

重点的な基盤整備目標に対する実績・成果

(1) 施設整備事業の完了

コロナ禍の影響は一部部材の納入に支障をきたしたが、当初の3か年計画の通り、施設整備事業を完了した。

(2) 内覧会、竣工式、開所式等の開催

コロナ禍の影響もあり、竣工式、開所式は実施せず、代替に定礎式を6月に実施した。施設の内覧については個別に受け入れを実施した。

3 危機管理

重点的な基盤整備目標に対する実績・成果

(1) BCPの策定

本設移転後の災害発生時の対応について、フローチャートや台風タイムラインの作成は遂行出来たが、施設全体のBCP（事業継続計画）の策定までは至らなかった。なお、企業CSRとしてBCPの作成をサポートしてもらう予定もコロナ禍により中止となった。

(2) 江東5区母子生活支援施設防災連絡協議会の参加、及び事務局の受任

オンラインによる情報交換会を1回開催した。参加施設には寄付された非常食の配布を行った。

(3) 防災教育への取り組み

宿泊行事や地域での防災学習で、防災食に触れる機会を設けた。タブレット端末で危険箇所を撮影したり、児童館に災害対策の話を聞きに行ったりと、フィールドワークを通して、子どもにとって実用性の高い防災の知識の獲得を促した。本事業は企業による助成金を利用した。

(4) オリンピック・パラリンピック東京大会開催時の交通機関混雑への対応

前年度にオリンピック・パラリンピック東京大会開催時の首都圏交通機関混雑を避けるための試行シフトを作成し、時短出勤等を実施した。しかし、大会は延期となり実施しなかった。ただし交通機関混雑を想定したシフト作成をしていたため、緊急事態宣言下のシフトに転用し、活用した。

(5) マンホールトイレの設置

隣接保育園と協働し、防災用マンホールトイレを3箇所設置した。また、設置訓練を3回実施し、組み立て方、組み立てに要する時間を把握した。

IV 令和2年度特筆すべき取り組み、事業及び予算

取り組みの内容と予算の執行状況

取り組み	内 容	執行額	予算額
(1) 施設内行事（母子ハイク等）実施	コロナ禍にありながらも、予防と工夫をし、母子ハイクやクリスマス会、成長お祝い会等の行事を個別に実施した。	600,000 円	教養娯楽費 750,000 円
(2) 通信システム・通信環境整備	全館WiFi環境、及び施設内LAN切り分け化を進めるも、一部に不具合が残り、来年度に整備予定とした。	5,060,000 円	器具取得費 5,060,000 円

(3) 学童支援の充実・乳幼児支援の充実	<p>学習用机と椅子をにより環境を整えた。木製のホワイトボードと電子ピアノを購入して、集会室で放課後を過ごす環境を整えた。</p> <p>施設内保育、補助保育を実施した。また、コロナ禍でも感染予防を行い、親子行事や遠足も実施した。</p>	500,000 円	<p>教育指導費 1,000,000 円</p>
(4) 江東橋5丁目子ども会季節行事への参加	<p>コロナ禍のため季節行事は中止となった。</p>	0 円	<p>被服費 120,000 円</p>
(5) 施設に求められる多機能化に向けた研修	<p>年間OFF-JT研修計画を綿密に策定したが、乳児院実地研修のみ機関短縮の上実施できた。就労支援事業、居場所事業での実地研修やそれ以外の施設独自研修は中止とした。ただし、外国籍利用者の法的課題についてはオンラインでの研修を実施した。</p>	550,000 円	<p>研修研究費 850,000 円</p>
(6) 本設初期備品購入	<p>本設完成前から業者と綿密な打ち合わせを実施し、本設業務開始に合わせて、必要な初期備品を準備した。なお本事業の一部として、緊急一時保護室、保育室の家具、全館のカーテンは企業CSRにより寄付を受けて整備した。</p> <p>*当初予算より超過したため、増額補正を行った。</p>	6,500,000 円	<p>事務消耗品費 7,000,000 円</p>
(7) 施設リーフレット、トーン&マナー事業	<p>施設紹介リーフレットを新規に作成、ファイルの棚の入れ替えや封筒、クリアファイルを整え、トーン&マナー事業を完了した。</p>	350,000 円	<p>印刷製本費 470,000 円</p>
(8) 本設への引越し経費	<p>事故等なく、安全な引越しができ、遅滞なく本設施設における業務を開始した。</p>	1,320,000 円	<p>通信運搬費 1,320,000 円</p>

<p>(9) 公益事業他による地域交流ホール利用促進</p>	<p>【パントリー】 新型コロナウイルス感染症により、地域のひとり親世帯への食品配布は中止したが、コロナ禍での困窮状況を把握するため退所世帯に限定したパントリーは2回実施することができた。食品の確保はNPO、区内、及び区内の子ども食堂、すみだ清掃事務所との連携により確保した。</p> <p>【里親支援】 墨田区、江東児童相談所、フォスターリング機関と協議し、地域交流ホールにて里親相談会を検討したが、コロナ禍のために開催できなかった。</p>	<p>60,000 円</p>	<p>事務消耗品費 50,000 車両費 10,000 合計60,000 円</p>
<p>(10) 支援記録システムの導入</p>	<p>office365を使用した支援記録システムを導入し、Microsoft Teams内にアプリとして利用できるようにした。これまで手動で行っていた相談件数の分類を支援記録と連動させた。</p>	<p>230,000 円</p>	<p>保守料 230,000 円</p>
<p>(11) 仮設撤去費用</p>	<p>本施設設工事完了前から、設計事務所及び仮設建築業者と協議し、仮設土地利用期間満了までに墨田区へ返還した。</p>	<p>810,000 円</p>	<p>ファイナンス リース債務費 810,000 円</p>
<p>(12) マンホールトイレの設置</p>	<p>防災委員会を中心に設置演習動画を撮影し、実際に職員及び隣接保育園と協働して、設置訓練を行った。</p>	<p>5,630,000 円</p>	<p>建設仮勘定取得 支出費 5,630,000 円</p>
<p>(13) 非常/火災通報装置設置</p>	<p>設置後、担当業者から使用方法の演習と定期メンテナンスを実施した。</p>	<p>660,000 円</p>	<p>建設仮勘定取得 支出費 660,000 円</p>

V 令和2年度各種実績報告

1 施設の利用状況

(1) 令和2年度利用者数推移

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
世帯数	9	8	8	9	11	13	13	14	14	14	13	13
利用者数	20	18	18	21	25	30	30	32	32	32	30	30

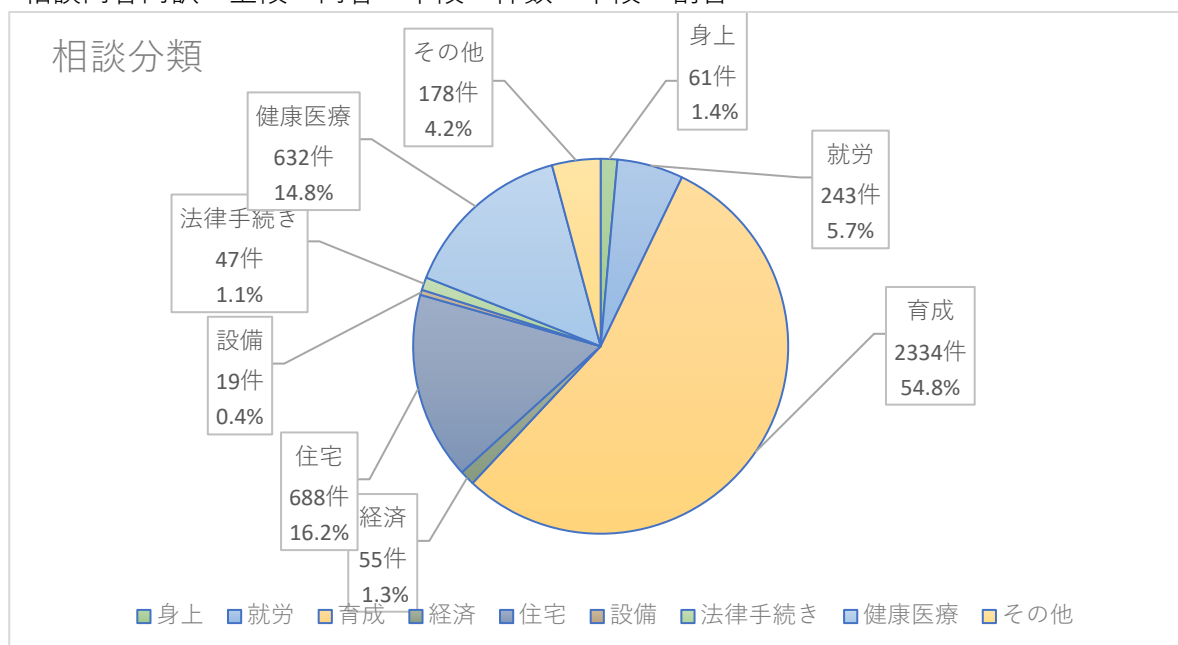
●平均利用世帯数： 11.5世帯

●平均利用者数： 26.5人

(2) 利用者相談件数

年間相談件数：4,257件

相談内容内訳：上段：内容 中段：件数 下段：割合

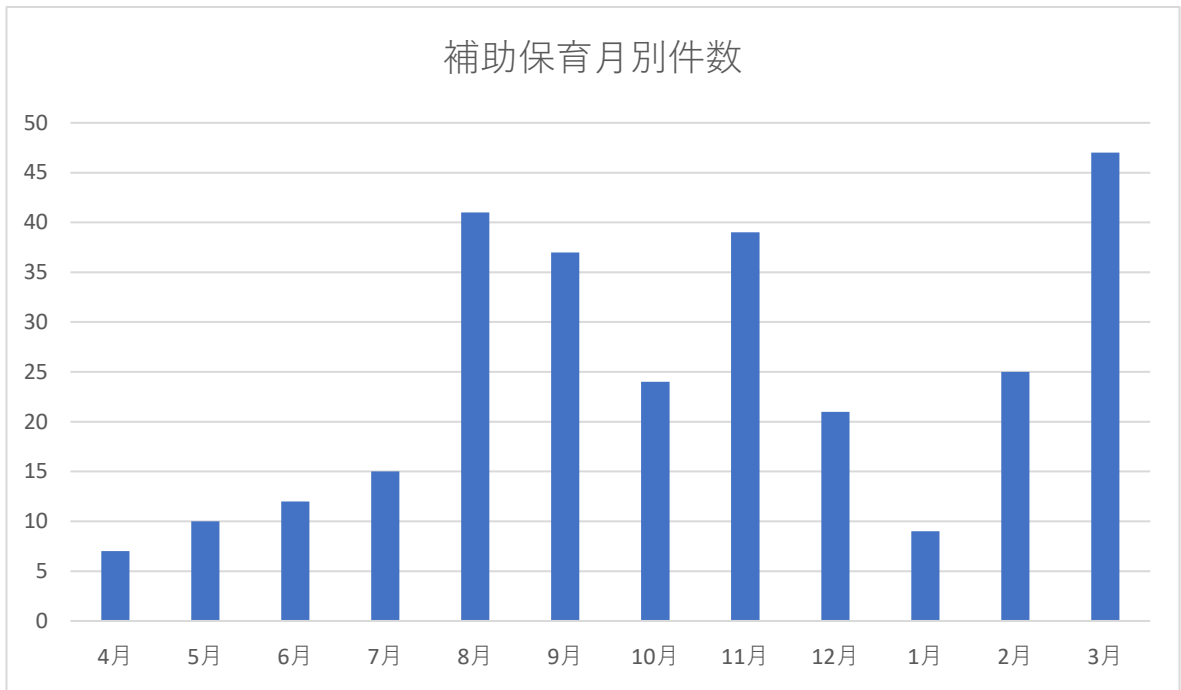


(3) 心理ケア実績

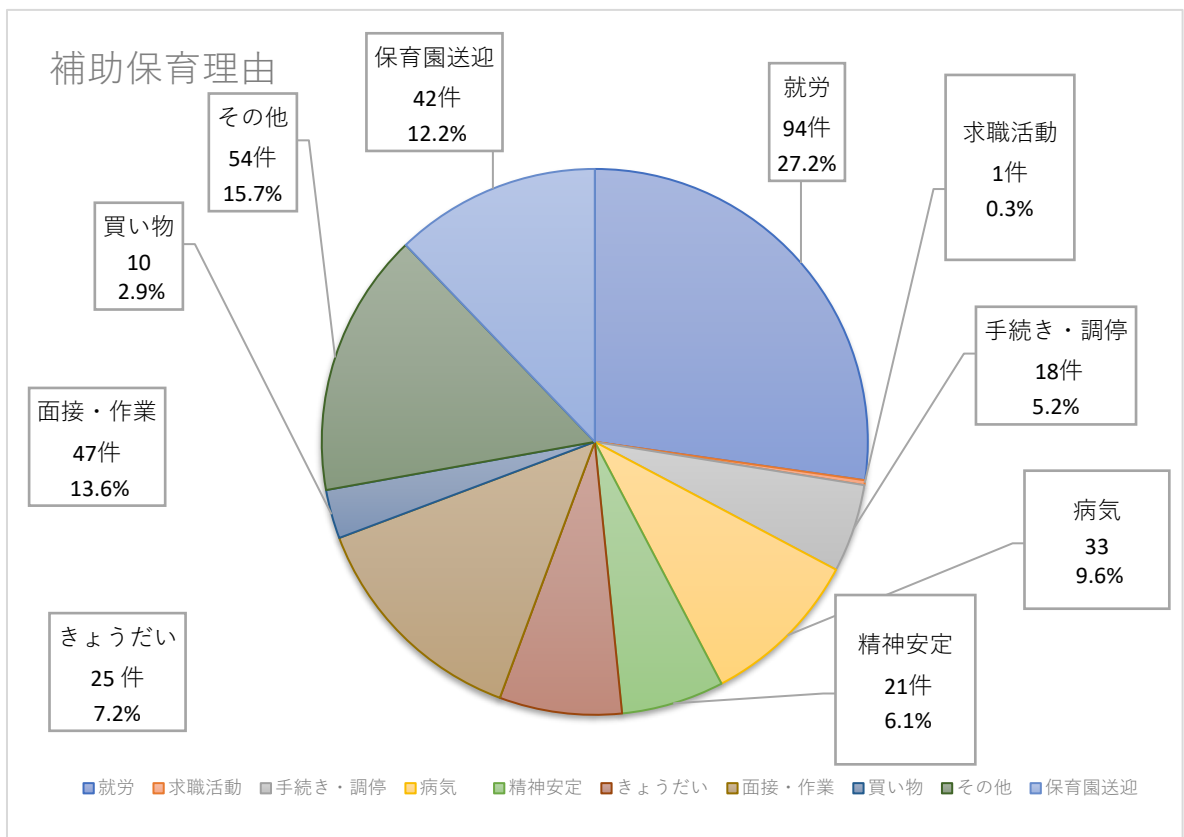
心理ケア年間件数：394件

	心理療法	生活場面面接	助言	会議
4月	0	10	1	1
5月	0	18	7	2
6月	1	5	9	6
7月	4	3	15	16
8月	8	8	15	10
9月	4	8	10	23
10月	7	13	14	14
11月	9	3	8	12
12月	12	3	7	8
1月	10	3	12	10
2月	10	1	12	5
3月	13	1	10	13
合計	78	76	120	120

(4) 保育実績

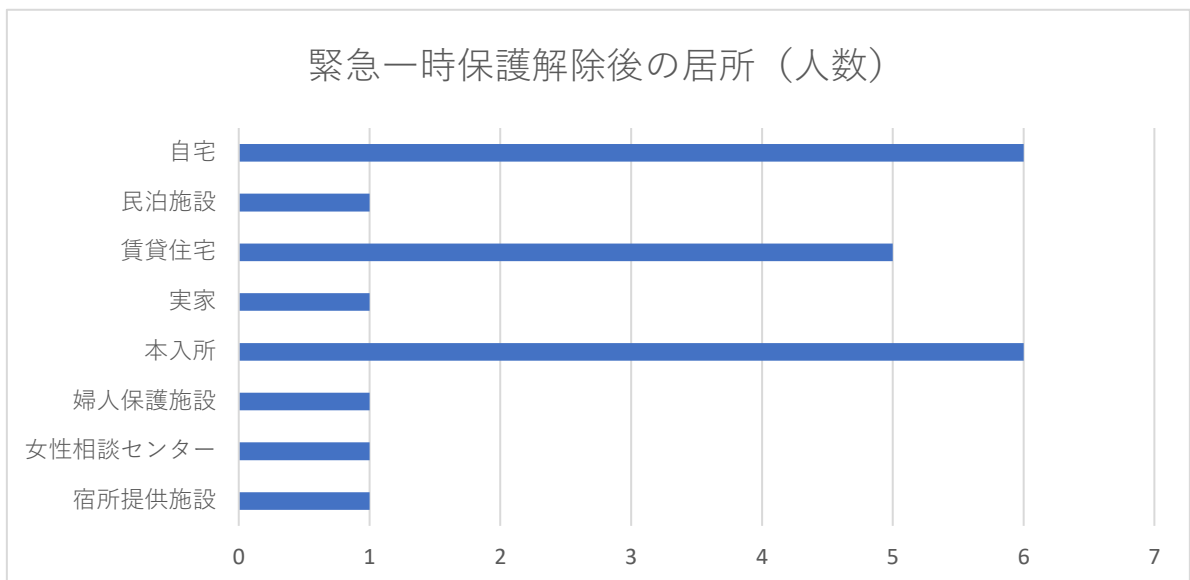
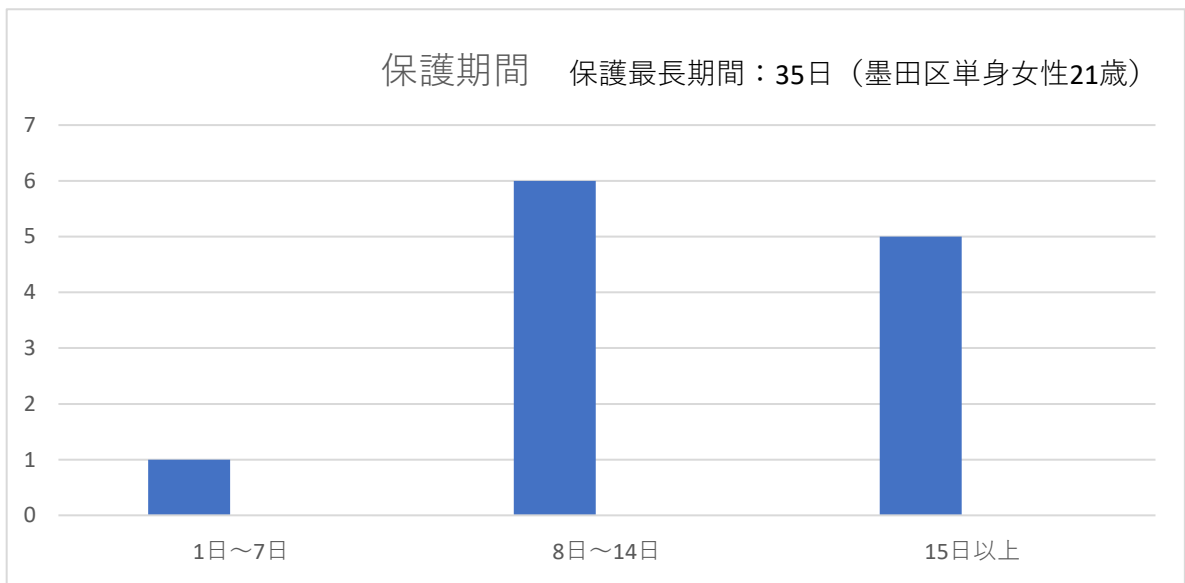
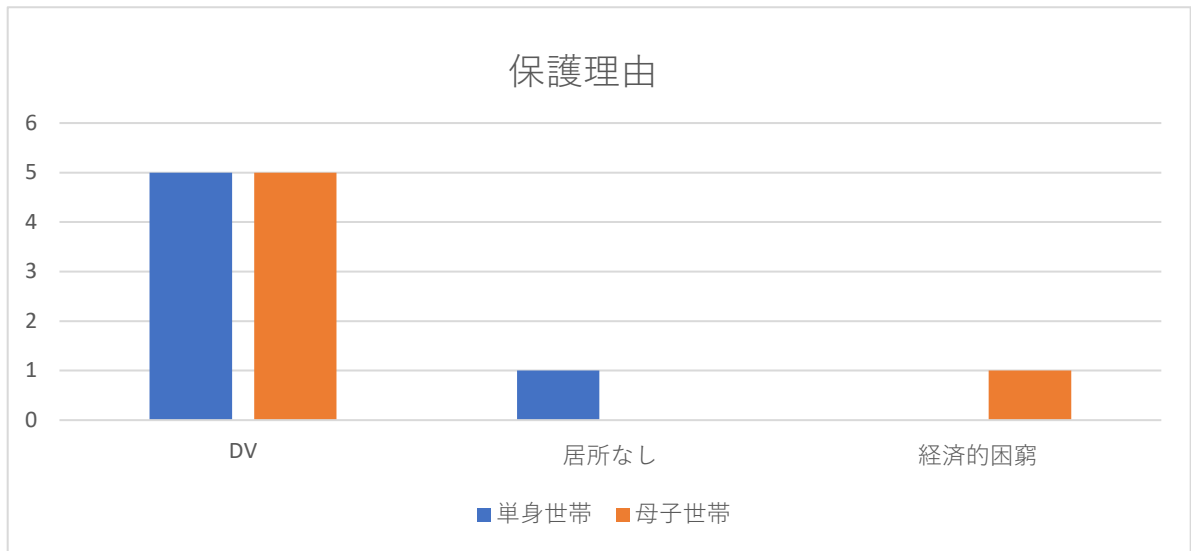


補助保育理由：上段：内容 中段：件数 下段：割合



(5) 緊急一時保護利用実績

墨田区：6件 中央区2件 文京区4件 合計：12件



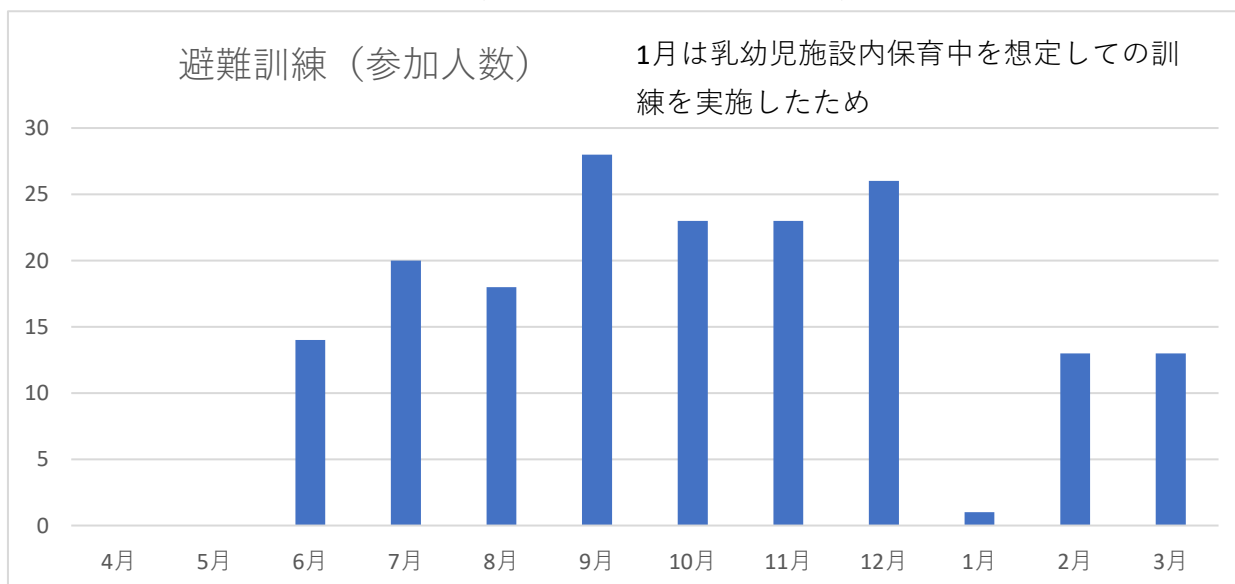
2 研修一覧

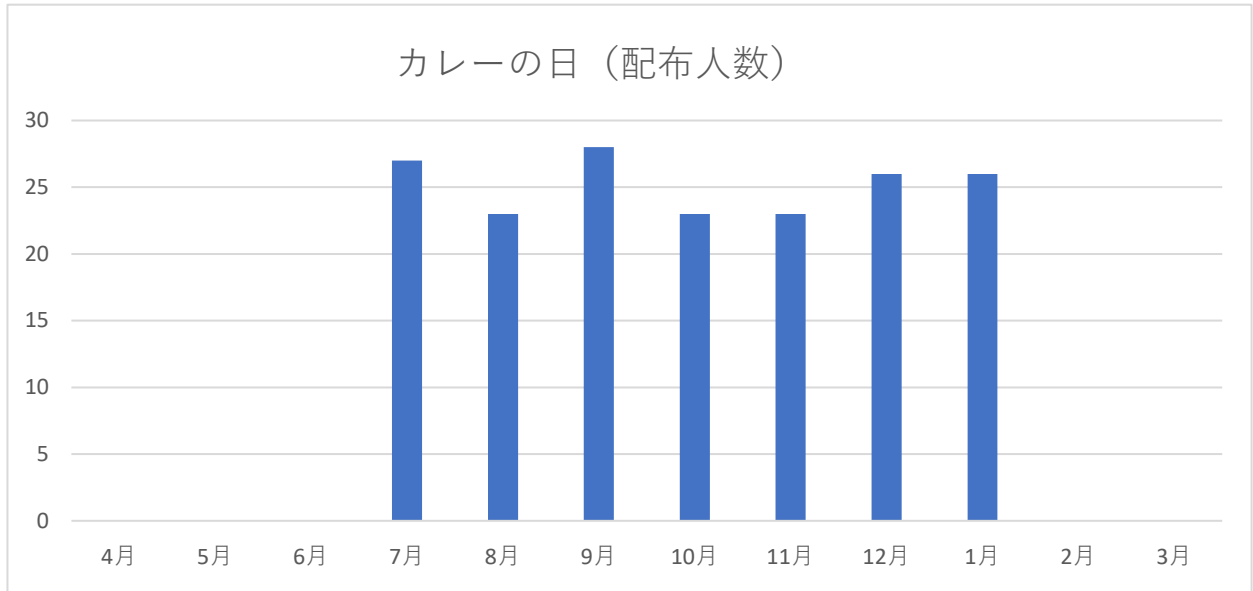
日付	氏名	研修名	主催
6	1 月	板谷 相談員・職員のための基礎講座〈講義〉	東京ウィメンズプラザ
		松丸 相談員・職員のための基礎講座〈講義〉	東京ウィメンズプラザ
	3 水	松丸 相談員・職員のための基礎講座〈演習〉	東京ウィメンズプラザ
	10 水	松丸 配偶者暴力(DV)被害者支援のための基礎知識	東京ウィメンズプラザ
8	5 水	白井 NPO&施設のためのビジネス基礎講座2020「SNSを活用して支援を集めよう！」	東京都ボランティア・市民活動センター
	26 水	舟越 離婚前後の法律に関する基礎知識を事例から学ぶ	東京都ひとり親家庭支援センター・はあと
9	2 水	白井 NPO&施設のためのビジネス基礎講座2020「相手に伝わる魅力的なプレゼンの仕方を学ぼう！」	東京都ボランティア・市民活動センター
10	14 水	白井 NPO&施設のためのビジネス基礎講座2020「オンラインで企業をどうアプローチするのか!？」	東京都ボランティア・市民活動センター
	15 木	板谷 令和2年度 on-line開催「社会福祉法人・施設 会計基礎実務研修会」	東京都社会福祉協議会
	21 水	佐野 チームケアを円滑にすすめるためのコミュニケーション	東京都社会福祉協議会
舟越 チームケアを円滑にすすめるためのコミュニケーション		東京都社会福祉協議会	
11	2 月	白井 3keysミニ講習会	特定非営利活動法人 3keys
	30 月	高橋 スーパービジョン体制の存在意義 業務行動の専門性を実感する	東京都社会福祉協議会
12	2 水	白井 NPO&施設のためのビジネス基礎講座2020「新しい時代の企業の社会貢献」	東京都ボランティア・市民活動センター
	7 月	谷本 チームリーダーとスーパービジョン	東京都社会福祉協議会
	8 火	岡本 配偶者暴力(DV)と子ども〜児童虐待との関係〜	東京ウィメンズプラザ
	14 月	谷本 コロナ禍の福祉避難所について考える	
		松丸 配偶者暴力(DV)から子どもと私の安全・安心な暮らしを取り戻すために (動画視聴)	東京ウィメンズプラザ
		高橋 配偶者暴力(DV)から子どもと私の安全・安心な暮らしを取り戻すために (動画視聴)	東京ウィメンズプラザ
		鳥井 配偶者暴力(DV)から子どもと私の安全・安心な暮らしを取り戻すために (動画視聴)	東京ウィメンズプラザ
		白井 配偶者暴力(DV)から子どもと私の安全・安心な暮らしを取り戻すために (動画視聴)	東京ウィメンズプラザ
1	29 金	佐野 子ども中心の支援を実現するための支援者支援	東京都社会福祉協議会
		伊丹 令和2年度 社会的養護を担う児童福祉施設長研修会 (動画視聴)	全国母子生活支援施設協議会
2	10 水	白井 子どもの心の発達と養育環境	東京都福祉人材センター研修室
	13 土	松丸 発達に偏りのある女の子の理解〜幼児期から思春期までの偏りの表れ方〜	白梅大学 発達・教育相談室
	18 木	鳥井 第9回「ステップファミリーの視界と支援」〜子どもの視点から離婚・再婚を捉えなおす〜	東京都ひとり親家庭支援センター・はあと
		関口 ファミリーソーシャルワーク研修会 (動画視聴)	全国社会福祉協議会
		白井 ファミリーソーシャルワーク研修会 (動画視聴)	全国社会福祉協議会
	20 土	第25回 全国地域福祉施設研修会 共に生きるとは	日本地域福祉施設協議会
	28 日	鳥井 第16回子育て支援講座 家族関係のアセスメントと支援	日本臨床心理士資格認定協会
	3	7 日	鳥井 アドラー心理学の理論と臨床
12 金		白井 SNS等利用の現状とリスクを学び、被害者支援に役立てる	東京ウィメンズプラザ
13 土		白井 コロナ禍と若者支援〜いま、若者と家族に何が起きているか〜	明治学院大学社会学部付属研究所
17 水		岡本 テーマ別研修 (親の精神疾患の子どもと育ち)	子どもの虹情報研修センター
		*取り消し線は中止及び抽選で落選となった研修	

3 全体行事内容、実績

行事名	日時	内容	参加者数
母の日お祝い会	5月10日	緊急事態宣言中だったため、寄贈品のハンドクリームと職員からのメッセージを母親へプレゼントした。	母…7名 子…9名
ホームカミングデー (X段の階段～ベタニヤホームの9つの部屋～)	9月26日	新型コロナウイルス感染者増加のため、中止とした。 代替行事として新しいベタニヤホームを知ってもらうため「X段の階段～ベタニヤホームの9つの部屋～」を実施。世帯ごとに担当職員と一緒に共有スペースの見学、階段の段数を当てるクイズや塔屋でのゲームを楽しみ、手作りの夕食(すき焼き丼)の提供をした。	母…11名 子…15名
母子ハイク	11月3日	ベタニヤホームの避難場所である猿江公園にて世帯ごとにネイチャービンゴをし、楽しみながら防災教育を行った。帰ってきた際に手作りの昼食(ハンバーガーセット)の提供をした。	母…10名 子…14名
クリスマス会	12月24日	コロナ感染者が増加したため、4回に分散して行う予定だった礼拝は中止。オルガン演奏をする予定だった児童は、順に教会でオルガン演奏をし、タブレットで撮影。後から母親に観てもらった。12月24日にクラムチャウダーとクリスマスプレゼントを配布した。また、12月初旬に利用者全員が世帯ごとに担当者と一緒にクリスマスツリーを飾り付け、母子で記念撮影をした。それをクリスマスカードにしてプレゼントした。	母…13名 子…17名
成人を祝う会	1月16日	計画をたて、退所児で成人式を迎えた人と退職者に声をかけていたが、コロナ感染者増加のため、延期とした。	
成長お祝い会	3月	世帯毎に施設長、担当職員と少人数で実施。会食と1年間の写真を見て、振り返り、子どもの成長をお祝いした。担当職員から母子へのメッセージ、母親から子どもへメッセージを贈り、母子で選んだ1枚の写真をカレンダーにし、後日、プレゼントした。	母…13名 子…17名

4 消火避難訓練、カレーの日実績(緊急事態宣言中は実施せず)





令和 2（2020）年度 菊川保育園 事業報告

I 令和 2 年度の施設運営方針に基づく取り組みの成果と課題について

・4.5月緊急事態宣言中の原則休園、新型コロナウイルス感染症の発生により2週間の臨時休園となったり、年間を通して感染症対応の日々であった。新型コロナウイルス感染症との共存の日々の中、子どもの安全を守る事に緊張し、感染症対策に追われ、保護者対応に戸惑い、迷いながらも精一杯の工夫をして過ごす中、区からの方針を踏まえた上で、園としての方針を定めていった。

課題としては、今後も同じような状況が続くと予想し、情報収集、保育や行事の持ち方の見直しをする。また、保護者へ向けて経過も伝えられるよう周知方法を検討する。

コロナ禍であるからこそ、何をどうすれば良いのか、本当に必要なことは何なのか取り組み方などを考えるきっかけになった。

・途中退園児がいたり、延長保育対象児が少なかったり、地域活動も十分に出来なかった。

また、気になる子どもも多く（障碍児9人、障碍児等13名）充足した職員環境でなければ対応できない状況である。定員が埋まらず、収入減だが職員は確保していきたい。

・行事のリモート化を年度末に導入した。日々の保育についても職員より発信されたドキュメンテーション、HP動画配信を用いて、より伝わりやすい方法として活用した。

今後も引き続き行っていく。

II 令和 2 年度の重点的な取り組み目標と目標達成に向けての具体的な取り組みや事業

1 子どもへのかかわり

重点的な取り組み目標に対する実績・成果

(1) 神様の愛と恵みに感謝する

・礼拝や日々のお祈りの時間、行事を通して興味や関心、理解を深め、生活の中での声掛けを話の中に取り入れた。また、子どもが疑問に思ったことを聖パウロ教会に行き質問したり、教会をより身近に感じて過ごすことができた。

(2) 子どもたちが主体的に生活する保育

・育児担当制を継続して行う。
・子どもの気づきから環境を整え、子ども自身が自分で考え選択、決定を重ねる経験をする中で、主体性が育っていった。

(3) 異年齢保育の取り組み

・室内外の活動の他、午睡明け、おやつ準備の手伝いなど、日々の生活の中で交流の場を持った。感染症対策をしっかりと行いながら無理のない範囲で行った。

(4) 遊びから得る学びを大切にする保育

- ・遊びに集中できる環境を整備し、子どもの興味に寄り添える言葉かけ、姿勢を職員で共有した。
- ・1人ひとりの思いを尊重し、意見を出し合う中で遊び方やルールなど子ども達で構成していけるようにした。

(5) 食育

- ・調理保育は出来なかったが、シイタケ栽培や季節の野菜を育て収穫の喜びを体験し、給食に取り入れることで食への興味、関心を深めることが出来た。
- ・食材への感謝や恵まれない国もある現状を伝えるなど、SDGSを意識した活動を行う。栄養士による栄養指導(食材の持つ働き)を行った。

(6) 専門講師による体操活動

- ・密を避けるため、実施時間と回数を変更し、体操活動を行った。集団活動でのルールを知る他、年齢に合わせた身体発達を促し、発展させていくことが出来た。

(7) 幼保小中一貫教育

- ・小学校との交流が出来なかったが、英語の出張体験や、一年生の教科書が各園に配布されたことで、就学へのイメージへと繋がった。

2 保護者へのかかわり

重点的な取り組み目標に対する実績・成果

(1) 園の保育方針、保育の取り組みを保護者に向けて発信

- ・ドキュメンテーション、写真掲示を活用し、日々の保育を発信した。また、運動会に向けての取り組み（サーキット）を動画配信した。
- ・噛みつきやひっかきについて、子ども理解のためにお便りを配布した。
- ・休園中もHPを活用して保護者向けの動画配信（体操）、レシピの配布を行った。
- ・保護者の会から寄せられたコロナ禍における運営への質問について話し合い、返答した。

(2) 保護者同士のつながり、育ち合い

- ・感染症の影響で保護者同士の交流を図る場が持てなかったが、その分、個人面談を行い悩みや不安を受け止め、一緒に考えていけるようにした。

3 地域へのかかわり

重点的な取り組み目標に対する実績・成果

(1) 世代間交流の継続

- ・ふれあい給食、お届けなどは出来なかったが、お便りを届けることで、保育園での子ども達の様子を知らせ、つながりを大切にしたい。

(2) 在宅子育て支援の拡充

- ・感染症対策に留意しながら、在宅子育て支援を行ったり、HPに動画配信を行った。オンライン講座は、計画を立てるのが遅かった為、利用者が少なかった。
- ・さまざまな企画は用意していたが、コロナ禍で開催する機会が減ってしまった。

(3) つながりのある居場所づくり

- ・人数や時間の制限がある中、園見学や活動内容を伝える場を設けた。
- ・区の母親学級が無くなる中で、マタニティ講座は好評であり、必要性を感じた。

III 令和2年度の重点的な基盤整備目標と目標達成に向けての具体的な取り組み

1 人材育成

重点的な基盤整備目標に対する実績・成果

(1) 職員の意識改革

- ・一人ひとりの出来ることを最大限に発揮するため、日々のコミュニケーションを大切にし、細かい確認も怠らないように努力した。

(2) 職員の育成

- ・ペア制度を設けたが、今回はコロナ禍により、職員の負担を考え実施しなかった。次年度はクラス間を超えたつながりを意識できるように取り組んでいく。

(3) 園内研修

- ・様々なクラスでドキュメンテーションを行い、それぞれの保育に対する視点を学び合ったり、気づきを共有することが出来た。
- ・園内研修とは別に、発達についての自主研修を行った。

(4) 働き方改革

- ・勤務時間内に業務が終えられるように、掃除のやり方や全体の働き方を見直すなど、必要な所には時間がとれるよう配慮し合った。
- ・決まっている業務については事前に分担し、声をかけ合うことで進捗状況の確認が出来ていた。

(5) 育成支援

- ・コロナ禍のため、ボランティアの受け入れはしなかった。感染症対策に留意しながら、実習生の受け入れを行った。(7名)

2 施設整備

重点的な基盤整備目標に対する実績・成果

(1) 施設の活用

- ・母子施設と共有する園庭の活用では、範囲制限やルールを決め、安全に園庭での活動が出来るようにした。
- ・マンホールトイレの設置訓練に参加した。

(2) 計画的な建物修繕

- ・空調機整備及び、空調機器フロン漏洩点検（ほし棟）
- ・非常通報機器取り換え工事
- ・防火シャッター バッテリー交換
- ・非常照明器具・誘導灯 バッテリー取り換え工事

3 危機管理

重点的な基盤整備目標に対する実績・成果

(1) 保育保健及び保健衛生

- ・手洗いチェッカーを使用し、看護師による手洗い指導を行った。
- ・手指衛生・マスクの着用など、様々な感染症予防策となり、通年感染症の流行が少なかった。
- ・看護師により該当クラスにエピペンの使用方法を伝えた。今後エピペン研修を行い、全職員で共通理解をしていく。
- ・怪我については「ぶつける」「すりむく」など、通年の傾向と同様だった。感染症対策として戸外活動の規制があり、散歩中の大きな怪我などは無かった。

(2) 感染症対策

- ・コロナ感染者が発生した際のフローチャートを作成し、迅速な対応が出来た。
- ・玄関に自動アルコール機、体温計を設置し、送迎者の体温、健康観察を行うようにした。
- ・マスクの着用、昼食・おやつ時の配膳方法の変更、パーテーションの使用、ソーシャルディスタンス、午睡時の環境の他、日々の保育の持ち方を工夫し、感染症対策を行っていった。

(3) 防災、防犯対策の徹底

- ・非常食の見直しを行い、献立立案や必要量の再確認をした。
- ・土曜保育、延長保育時の以上児の避難靴への対応を改めて考え、改善した。
- ・避難訓練後は振り返り、見直し点を話し合った。

IV 令和2年度特筆すべき取り組み、事業及び予算

取り組みの内容と予算の執行状況

取り組み	内 容	執行額	予算額
(1)建物整備	空調機整備及び空調機器フロン漏洩点検	2,222,000 円	2,500,000 円

テルウェル学校 110 番の非常通報装置 取替え	572,000 円	700,000 円
ベタニヤホーム災害トイレ設置工事（パ ネル+便器）	1,708,784 円	1,800,000 円

V 令和2年度各種実績報告

1 児童の入所状況

定員 120 人 平均在籍園児数 113 人 入所率 94.2 %
(単位:人)

年齢	月 定員	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
0歳児	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
1歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
2歳児	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	252
3歳児	24	23	24	24	24	24	24	23	24	24	24	24	24	286
4歳児	24	21	21	21	21	21	22	22	22	22	22	22	22	259
5歳児	24	20	20	20	21	20	20	20	19	19	19	19	19	236
合計	120	112	113	113	114	113	114	113	113	113	113	113	113	1357
障がい児等		15	15	15	15	15	15	17	17	17	17	17	17	192
延長保育		9	9	5	5	5	6	5	5	5	5	5	5	69
1時間単位保育		2	1	11	7	10	16	12	13	16	13	14	14	129
短時間スポット延長		0	0	0	2	1	2	1	1	1	0	1	1	10

各区市延べ園児数 墨田区 1,322 人、江東区 35 人

2 職員の状況

職名・職種	4/1現在	3/31現在
園長	1 人	1 人
副園長	2 人	2 人
主任保育士	2 人	2 人
保育士	21 人	21 人
看護師	1 人	1 人
給食	6 人	6 人
保育補助・給食補助等	9 人	9 人
事務・用務	0 人	0 人
合計	42 人	42 人

雇用形態	4/1現在	3/31現在
正規職員	28 人	28 人
有期契約職員	14 人	14 人

3 年間行事

(1) 定例行事

・誕生日会・0才児健診・身体測定・避難、消火訓練・応急救護訓練
・おはなし会・・・ストーリーテラーによるパネルシアター・手遊び・素話（年8回）
・クッキング保育・・・梅ジュース・シイタケ栽培他
・体育指導・・・3、4、5才児対象（8月から月2回）

(2) 季節の行事

月	園 行 事	法人・ルーテル教会関係
4月	入園進級礼拝	
5月		内部監査
6月	花の日礼拝	
7月	春の健康診断	
8月		
9月	一斉引き渡し訓練	法人創立記念会
10月	運動会・歯科検診	
11月	収穫感謝礼拝・子ども祝福式・秋の健診	
12月	クリスマス会（園児）	クリスマス礼拝
1月	新年礼拝・歯科検診	
2月	節分	
3月	卒園式 お別れ遠足 リクエストメニュー給食	東京大空襲罹災者礼拝

(3) 父母の会の行事等や保護者等との連携

月	行 事 や 連 携 内 容 等
2月	行事が行えないため、子どもの写真入りカレンダー制作をし配布した

4 人材育成

(1) 職員の研修等参加状況

研修種別	研修名等	回数	参加者
園長会研修	コロナ禍の園の運営どうしてる？	1回	1人
〃	コロナ禍における自然災害の対応	1回	2人
〃	新人保育士等職員の育成と就業継続支援のための研修会	1回	2人
キャリアアップ研修	障害児保育 3日間	1回	1人
〃	幼児保育 2日間	1回	1人
墨田区子ども子育て支援課	就学を見すえた幼児の生活リズム	1回	1人
〃	「保育の質的な向上を目指して」多様性を受け入れる意味	1回	2人
合 計		延 7回	延 10人

(2) 実習等受入れ状況

学校名等	期間・日数	人数
青山学院女子短期大学	8/24～9/15 12日間	2人
東京YMCA社会体育・保育専門学校	10/12～10/22 10日間	1人
大妻女子大学	2/8～2/25 12日間	1人
武蔵野大学	9/7～9/24 12日間	1人
〃	11/16～12/1 12日間	1人
大妻女子大学	11/9～11/24 12日間	2人
合	計	延 8人

令和2（2020）年度 富士見保育園 事業報告

I 令和2年度の施設運営方針に基づく取り組みの成果と課題について

令和2年度は、4月に新型コロナウイルスの感染拡大により緊急事態宣言が発令され、今までと全く違う新年度となってしまった。その中でも、富士見保育園としての対応を職員皆で考え、子どもたち、保護者、地域の協力があり、1年を進めることができた。感謝である。

限られた中でも、富士見保育園として子どもたちの為にできることはなにかを第1とし、活動、行事も行うことができた。今後も、コロナ禍においての保育内容を常に見直し、キリスト教保育において「愛されている」「守られている」という温かな心を皆が感じられる保育園とする。園舎建替えも多くの方の助力を得ながら計画的に進めていく。

II 令和2年度の重点的な取り組み目標と目標達成に向けての具体的な取り組みや事業

1 子どもへのかかわり

重点的な取り組み目標に対する実績・成果

(1) 保育内容の充実

・乳幼児保育は「担当制保育」幼児保育は「異年齢保育」を通して、1人ひとりの発達にあった丁寧できめ細やかな関わりをすることができ、互いの違いを認め合いながら共に育つ保育をすすめていくことができた。

普段の保育園生活、キリスト教の礼拝や神様との時間を通して、心の育ち、人を思う気持ちを養うことができ、人格を尊重することができている。

(2) 保育内容の向上・継承

・毎年、吉本和子先生の指導を受け保育内容を振り返る中、今年度はコロナ禍においてリモートで行い、各クラス保育を見直すことができた。またコロナウイルスの感染状況により、様々な対応が求められる中で職員1人ひとりが最善を考え務めることができた。

(3) 食育・食の安全

・野菜の栽培活動を通して、育つまでの過程を知り、食への興味、関心、食べられることへの感謝の心を培うことができた。アレルギー除去食や離乳食だけでなく、個々に合わせた食事の形状、量を調節することで食べられる満足感や意欲を持てるようにしている。そのために栄養士、調理員、保育士が日頃から協力し連携を取り進めることができた。

2 保護者へのかかわり

重点的な取り組み目標に対する実績・成果

(1) 法人・保育園の方針への理解

・新型コロナウイルスの感染状況により、父母の会総会やクラス懇談会を書面で行った。行事の行い方を一つひとつ職員全体で話し合い、保護者の方にも理解していただき行うことができた。保護者参加の行事の際に理事長に話していただく機会を持てたことは、コロナ禍において法人、園の気持ちを直接伝えることができた。

(2) 保護者支援

・子育てに悩む保護者がいた時は、担任、事務所で共有し、一緒に保護者に寄り添うことができた。また、保護者が子どもの発達を気にかけて相談があった場合には、園で判断するのではなく適切な場所へ繋げ連携を取り、子どもへの関わり方や保護者の方が前に進んでいけるよう支援することができた。

3 地域へのかかわり

重点的な取り組み目標に対する実績・成果

(1) 地域に愛され守られる保育園

・新型コロナウイルスの感染状況により、お互いが行き来する交流を行うことはできなかったが光照苑(特別養護老人ホーム)育成室(障がい児通所施設)とは、花の日礼拝や収穫感謝祭を通して子どもたちの絵カードを届けることで喜びの声を聞くことができた。

・卒園児クリスマスは行うことができなかったが卒園児を担当していた職員が1人ひとりの子どもたちにクリスマスカード、オーナメントを送り、離れていても「みんなでクリスマスを祝いましょう」という思いを伝えることができ、多くの感謝をいただいた。卒園しても当時の職員がいることは卒園児、保護者にとっては帰りやすい場であり、行事としては中止でも保育園の思いは十分に伝わったと感じられた。

(2) 一時預かり事業

・一時預かり事業は、新型コロナウイルスの感染リスクがあるため、休止とした。

III 令和2年度の重点的な基盤整備目標と目標達成に向けての具体的な取り組み

1 人材育成

重点的な基盤整備目標に対する実績・成果

(1) 職員の資質向上

・キャリアアップの仕組みを活かし、職務分担表で役割を明確にすることで主任、副主任、専門リーダー、リーダーの働きを見える化することができた。

今後もキャリアアップ研修に出向き、資質向上に努めるとともに人材育成にも励んでいく。

(2) 接遇マナーの振り返り

・今年度も一つひとつのことを職員で確認し振り返ってきた。利用者への関わり方、立

ち振る舞い、言葉遣い、身嗜み等だけではなく保育園で働く専門職の職員としての責任、自覚を持てるよう今後も職員会、園内研修を通して研鑽していく。

2 施設整備

重点的な基盤整備目標に対する実績・成果

(1) 建物維持管理

・今年度も屋上防水コーティングや門扉修理など細かな修理やメンテナンスを行ってきた。

数年後には建替えも計画されている。今後も一つひとつの設備、備品を職員全体で丁寧に管理し、新園舎に移行しても使用できるものは使用していく。

3 危機管理

重点的な基盤整備目標に対する実績・成果

(1) 防災意識を高める

・毎月の避難訓練(火災・地震・水害)では様々な時間帯で行い、限られた人数でも避難できるよう、職員間、クラス間で話し合い取り組むことができた。また、0、1歳児クラスは抱っこ紐をスムーズに着ける、二人抱える、避難用滑り台を子どもと危険のないよう降りるなど日々の保育の中で取り入れるようにしたことで事前通知をしない3月の避難訓練でもスムーズに避難することができた。

(2) 安全対策、点検

・園内は各クラス各場所で担当が決まっており、日々点検し必要なところは環境の見直しや修理している。園舎、園庭は職員が交代でチェック表をもとに点検するようにし一人の目では気付けないところも多く目の目で確認することで安全を守ることができた。見直しや修理が必要なところは昼礼で確認し全体で把握するようにしている。

IV 令和2年度特筆すべき取り組み、事業及び予算

取り組みの内容と予算の執行状況

取り組み	内 容	執行額	予算額
(1)修繕	屋上補修及び防水工事	1,837,000 円	2,000,000 円
	2階保育室カーテン取替	236,808 円	300,000 円
	雨水管切り替え工事	192,500 円	300,000 円
	給食用エレベーターロープ取替え	80,000 円	100,000 円

(2) 公開保育	新型コロナウイルス感染予防のため休止	円	円
(3) 一時預かり事業	新型コロナウイルス感染予防のため休止	円	円

V 令和2年度各種実績報告

1 児童の入所状況

定員 100人 平均在籍園児数 102人 入所率 102%
(単位:人)

年齢	月 定員	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
0歳児	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
1歳児	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	180
2歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
3歳児	18	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
4歳児	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
5歳児	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
合計	100	102	102	102	102	102	102	102	102	102	102	102	102	1224
障がい児等		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
延長保育		9	0	0	9	12	14	15	15	14	13	12	13	106
1時間単位保育														
短時間スポット延長														

各区市延べ園児数： 江戸川区 1,224名

2 職員の状況

職名・職種	4/1現在	3/31現在
園長	2人	2人
副園長	0人	0人
主任保育士	3人	3人
保育士	15人	15人
看護師	1人	1人
給食	4人	4人
保育補助・給食補助等	7人	6人
事務・用務	1人	1人
合計	33人	32人

雇用形態	4/1現在	3/31現在
正規職員	26人	26人
有期契約職員	7人	6人

3 年間行事等

(1) 年間行事・活動

4月、5月、6月	緊急事態宣言や新型コロナウイルス感染予防のため行事、活動を中止した。 イースター礼拝、進級式、花の日礼拝は牧師先生を招くことはできなかったが職員、子どもたちと守ることができた。
7月	講師活動を再開し、体育あそび、リトミック、わらべうたを開始。
9月	引き取り訓練 お招き会(敬老の集い)は、招くことができなかったので子どもからのカードと園からのプレゼントを各家庭に送った。 お泊まり保育(5歳児)
10月	運動会はプログラムを短縮し保護者参加を各家庭1名で行った。
11月	祝福式、収穫感謝祭
12月	第1～3アドベント礼拝 園児クリスマス礼拝は4、5歳児で行い保護者参加は1名とした。 卒園児クリスマスは担任から一人ひとりにクリスマスカード、園からオーナメントを送った。
2月	生活発表会は緊急事態宣言中であった為、行事としては中止したが平日、無観客で行い、子どもたち同士で一人ひとりの成長を見守ることができた。 入園説明会は、一人ひとり日時を調整し、個別で行った。健康診断も一人ひとり嘱託医の方へ行き受診した。職員、保護者、嘱託医の協力があり、行うことができた。
3月	卒園式は5歳児と保護者参加1名で行った。

(2) 季節の行事

月	園 行 事	法人・ルーテル教会関係
4月	進級式・イースター礼拝	辞令交付式
5月		内部監査
6月	花の日礼拝・家族の日	
7月	水遊び	
8月	水遊び	
9月	引き取り訓練・お招き会・お泊まり保育	法人創立記念礼拝
10月	運動会	
11月	祝福式・収穫感謝祭・進級写真	
12月	アドベント礼拝・クリスマス礼拝・クリスマス祝会	法人クリスマス礼拝
1月		
2月	生活発表会・入園説明会	
3月	卒園式・お別れ遠足(5歳児)	法人追悼記念礼拝

(3) 父母の会の行事等や保護者等との連携

月	行事や連携内容等
4	父母の会総会(書面表決)
6	各クラス懇談会(書面)
12	幼児クラス個人面談
2	各クラス懇談会(書面)
3	父母の会総会(書面表決)

4 人材育成

(1) 職員の研修等参加状況

研修種別	研修名等	回数	参加者
子どもの文化学校	0歳児クラスの保育教室	10回	1人
子どもの文化学校	1歳児クラスの保育教室	10回	1人
子どもの文化学校	2歳児クラスの保育教室	10回	1人
子どもの文化学校	3歳児クラスの保育教室	10回	1人
子どもの文化学校	保育の喜び・そして責任	5回	1人
福祉施設経営研修	施設長のための経営講座	1回	1人
福祉経営セミナー	監査・処遇改善等加算。年末調整のポイント	1回	1人
合 計		延 47回	延 7人

(2) 実習等受入れ状況

学校名等	期間・日数	人数
青山学院女子短期大学	令和2年8月24日～9月5日	2人
有明教育芸術短期大学	令和2年8月24日～9月5日	1人
愛国学園保育専門学校	令和2年9月14日～10月1日	2人
東京子ども専門学校	令和2年9月28日～10月9日	1人
東京YMCA社会体育保育専門学校	令和2年10月12日～10月23日	1人
江戸川大学	令和2年10月28日～11月6日	1人
大妻女子大学	令和2年11月9日～11月24日	1人
東京未来大学	令和3年3月10日～3月24日	1人
大妻女子大学	令和3年3月8日～3月22日	1人
合 計		延 11人

令和2（2020）年度 こひつじ保育園 事業報告

I 令和2年度の施設運営方針に基づく取り組みの成果と課題について

令和2年度の運営方針に基づく取り組みとして「心も身体もゆっくりとしっかりと育てる」ことを掲げ、礼拝や行事を通して園児や保護者に伝えたり掲示をしているものの、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため保護者が実際に参加できない状況であった。

そのため、施設の取り組みが見えづらくなっていると感じられた。

今後は、いつでもどこで見ることができるホームページを最大限に利用して、保護者・地域に発信していくことが課題である。

II 令和2年度の重点的な取り組み目標と目標達成に向けての具体的な取り組みや事業

1 子どもへのかかわり

重点的な取り組み目標に対する実績・成果

(1) 子ども達が神さまに愛されているかけがえのない存在であると感じられ保育

降園の際に子どもが保護者に讃美歌を聞かせていたり、聖句を伝えている姿を度々目にし、子ども達が神様を身近に感じていることが実感できた。

(2) 担当制を取り入れた乳児保育

「ゆっくりとしっかりと育てていく」ことを念頭に有期職員と協同しての子どもの求めに対し必要な援助ができるよう体制を作り、綿密に行ってきたことにより、子ども達が早く職員や園に慣れ安心した環境の中で生活を送ることができた。

(3) 遊びを通して発達にあった様々な体験を重ねる幼児保育

年齢に応じた遊びを提供し、目標を持つことで保育を充実させることができた。また、体育指導では専任講師により発達に応じて体を動かす楽しさを感じることができた。

(4) 互いに認め合い育ち合うための異年齢保育

食事スペースの密をさけるため幼児クラスでは1クラス分のスペースを全体で使える固定のランチルームを設定した。

このことでクラスを分けず、大きな空間で過ごす時間が増えこれまで以上に小さい子に譲ったり年上の子に甘えたりすることができ、異年齢交流が日常的に図ることができた。

(5) 食生活・食育

偏食が多い子どもにとって食事の時間が苦痛と感じることがないようゆっくりと関わることにより、集団の中で自然と食べる楽しさを感じることができた。

また、キノコ栽培や手で触れることができる野菜を展示することにより食べ物をより身近に感じることができた。

(6) 特別な配慮を含めた子どもへの対応

自由遊びの時間から食事の時間に切り替わるときなど生活の節目で不安定になりがちな所に保育者を配置し、個別に対応することにより安定して過ごすことができた。

2 保護者へのかかわり

重点的な取り組み目標に対する実績・成果

(1) 子ども中心にした関係を大切に成長の喜びを共有する

お迎え時には楽しんでいた日中の姿をわかりやすく説明することにより、家庭での小さな出来事も話してくれるようになり、成長も喜び合うことができた。

令和3年度については写真などを使い視覚的に伝わりやすい環境を作っていきたい。

(2) 個別支援

墨田区の巡回心理相談士と連携し、保育で気をつけることや有効な言葉かけを学び実践することができ、気になる子が安定していくことができた。

また、必要に応じて助言し保護者と共有することができた。

3 地域へのかかわり

重点的な取り組み目標に対する実績・成果

(1) 地域の子育て拠点となる

園の前が公園であることを有効に活用し地域の親子に声掛けして一緒に遊ぶことを通して、同世代の子どもたちとの関わりを楽しみにしている姿や、新年度開始して早々に園の入園見学の問い合わせがあったことなど、地域に根ざしていることが伺えた。

(2) 一時預かり保育

保育園開所当時から行っている一時預かり事業であるが、週の始めのには、申し込みが殺到していることから地域に定着してきたことが伺える。

また、利用者から子育ての相談を持ちかけられなど信頼関係も深めることができた。

(3) 異世代間交流

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により開催することができなかったが、卒園児からは問い合わせが多くあり交流を求めていることがわかった。

III 令和2年度の重点的な基盤整備目標と目標達成に向けての具体的な取り組み

1 人材育成

重点的な基盤整備目標に対する実績・成果

(1) 法人の理念の継承

昼礼時にベタニヤホーム憲章を皆で読みあわせることにより法人として一体間を感じ、理念を読むごとに改めてビジョンを意識することができた。

聖書研究会や職員研修では共に学び深めることができた。

(2) 職員育成と園内研修計画

経験の浅い職員にはその職員に合ったペースで丁寧に指導することで信頼関係が深まり、スムーズに保育に活かすことができた。

園内研修では小グループにしたことにより率直な意見を出すことができ充実化を図れ

(3) 働き方改善の取り組み

1日の労働時間を8時間とし週5日勤務にしたことにより連休をとれることが増え、余暇の過ごし方が充実し、仕事への意欲が高まった。

2 施設整備

重点的な基盤整備目標に対する実績・成果

(1) 中長期修繕計画

- ・建物検査、設備検査を行い次回に向けて修繕の計画をすることができた。
- ・トイレトレーニングがスムーズに行えるよう子ども用の暖房便座を設置した。

3 危機管理

重点的な基盤整備目標に対する実績・成果

(1) 子どもの安全能力を高める

戸外活動に行く前や事前に危険な場所や動き方について伝えることにより、子ども同士で危険個所を伝えあい注意しあう姿があり相乗効果も見られた。

(2) 防災・防犯・事故対策

毎月、様々な想定で避難訓練を行うことにより、サイレンが鳴ると放送を集中して聞くようになり、月を重ねるごとに円滑に避難できるようになった。

(3) 感染症対策

消毒を徹底して行うことにより、感染を防止することができた。また、保護者への注意喚起や区のお知らせも一斉メールにより早めに周知することができた。

IV 令和2年度特筆すべき取り組み、事業及び予算

取り組みの内容と予算の執行状況

取り組み	内 容	執行額	予算額
(1) 育児休業より復帰、職員雇入れ	令和2年度中に育児休業より2名の復帰、新規採用2名あり令和2年度末では昨年度末より実質2名の増員となり人件費は昨年度予算より約600万円の増額となった。	人件費(総額) 163,422,381 円	人件費 (年間予算) 168,229,720 円

(2) 家庭的保育施設への給食提供を廃止	調理担当職員の退職が重なったことによりやむなく給食の提供を停止せざるを得なかった。平成31年度中は月平均10名分(3事業所)に提供。	その他の事業収入 ▲ 1,200,000 円	
		給食費支出 9,146,276 円	給食費支出 1,050,000 円
(3) 子ども暖房便座設置	トイレトレーニングがスムーズに行えるよう設置した。	390,000 円	400,000 円

V 令和2年度各種実績報告

1 児童の入所状況

定員 100人 平均在籍園児数 99人 入所率 99%
(単位:人)

年齢	月定員	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
0歳児	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
1歳児	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	156
2歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
3歳児	21	21	21	21	21	21	21	21	20	19	19	19	19	243
4歳児	21	21	21	21	21	21	21	21	20	20	20	21	21	249
5歳児	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	252
合計	100	100	100	100	100	100	100	100	98	97	97	98	98	1188
障がい児等		8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96
延長保育		4	4	1	1	1	1	0	0	1	1	1	1	16
1時間単位保育		7	0	7	26	25	47	62	55	56	40	39	46	410
短時間スポット延長		0	0	2	6	0	1	3	0	5	0	0	3	20

各区市延べ園児数： 墨田区 1,180人、 江東区 5人

2 職員の状況

職名・職種	4/1現在	3/31現在
園長	1人	1人
副園長	1人	1人
主任保育士	3人	3人
保育士	15人	15人
看護師	1人	1人
給食	3人	3人
保育補助・休職補助等	9人	9人
事務・用務	1人	1人
合計	34人	34人

雇用形態	4/1現在	3/31現在
正規職員	25人	25人
有期契約職員	9人	9人

3 年間行事

(1) 定例行事

消火避難訓練 月1回 第3火曜日
合同礼拝 毎週火曜日 (第1火曜日：担当牧師による礼拝)
聖書研究 (第3火曜日)
お祝い給食 (第3木曜日)
身体測定
0歳児検診

(2) 季節の行事

月	園行事	法人・ルーテル教会関係
4月	新入進級礼拝・イースター礼拝→緊急事態宣言中により中止	
5月	ファミリー交流会→緊急事態宣言中により中止	
6月	花の日礼拝(幼児のみ)	
7月	水遊び(プールは中止) 夜の保育園(5歳児)	
8月	水遊び(プールは中止)	
9月	引き取り訓練 お招き会→中止	創立記念礼拝(リモート)
10月	ファミリースポーツデー(3歳児中止・4歳児園児のみ・5歳児親子)	
11月	子ども祝福式 収穫感謝祭	
12月	親子クリスマス会(乳児は中止幼児のみ)	クリスマス礼拝(リモート)
1月		
2月	生活発表会→中止	
3月	卒園式(4歳児の参加なし)	罹災者記念礼拝(リモート)

(3) 父母の会の行事等や保護者等との連携

月	行事や連携内容等
9月	引き取り訓練
3月	卒園式

4 人材育成

(1) 職員の研修等参加状況

研修種別	研修名等	回数	参加者
キャリアアップ研修	マネジメント(副主任)	2回	2人
	保護者支援・子育て支援	3回	5人
	幼児保育	4回	1人
	障害児保育	2回	1人

	アレルギー対応	2回	1人
現場研修	保育の質を高める研修会	1回	1人
園長会研修	コロナ禍における自然災害への対応	1回	2人
園内研修	室内遊びについて（遊びとその展開）	1回	25人
合 計		延 16回	延 38人

(2) 実習等受入れ状況

学校名等	期間・日数	人数
東京YMCA社会体育・ 保育専門学校	2020年11月9日～12月7日 12日間	2人
大妻女子大学	2020年11月9日～12月7日 12日間	2人
大妻女子大学	2021年2月8日～2月25日 12日間	1人
合 計		延 5人

令和3年3月

社会福祉法人ベタニヤホーム
事業報告書